

第 8 回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

会 議 名	第8回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会会議
日 時	令和7年2月26日（水）13時30分～16時00分
場 所	橋本地区公民館 研修室（橋本商工会館内2階）
出席者 （敬称略）	堀内 秀雄 乾 幸八 前田 陽一郎 平家 利也 田村 亜美 森田 知世子 井西 三知子 玉井 勝代 佐藤 陽子 今田 実 岸田 昌章 戸島 浩子 中谷 維志 東 美樹 平田 敬二 【出席委員：15名】
欠 席 者 （敬称略）	小原 秀紀 岩澤 晃臣 芝 一與 福澤 稔 向 律子 【欠席委員：5名】
事 務 局	地域振興室長 前川 朋久 地域振興室主査 上原 慎太郎 地域振興室主査 今山 知紀
次 第	1. 開会 2. 報告 ① はぐくむサポーター交流会 資料1 サポーター交流会報告書 ② 第4期市民委員の募集結果 ・ 新規委員1名、継続委員6名 ③ 地域運営組織に係るタウンミーティング 資料2 第2回地域運営組織タウンミーティング報告 （高野口・隅田地区） 3. 議事 ① 提言書 資料3 第3期提言書案 ② 提言書報告交流会 資料4 提言書報告交流会開催要項案 4. その他 ・ はぐくむサポーターのメルから市公式 LINE への移行について ・ 今後の連絡についてはグループ LINE で行う 5. 閉会

1. 開会

- 委員20名中15名出席により、委員会が成立していることを報告。
- 傍聴者2名。
- 議事録署名人は平田敬二委員、岸田昌章委員。

2. 報告

① はぐくむサポーター交流会

令和6年12月1日に開催したはぐくむサポーター交流会についての報告書と当日参加者のアンケート結果を共有した。

○ 報告内容

- 今回はアイスブレイクや〇×クイズも含めたグループに分かれての交流会で一般参加27名+はぐくむ委員10名の計37名が参加した。
- アンケート回答のあった20名中19名が良かったと回答しており、久しぶりに会った方と話せたや他地域の方とも交流できたなどの意見があった。
- 参加委員からは話していない人はいないほど盛り上がっていた、連絡交換の場にもなっていたといった意見があったほか、司会の声が聞こえづらいなどの反省点もあった。

○ 委員長意見

- はぐくむ条例や委員会について参加者から意見はなかったのか。
 - 条例そのものについてはなかったが、参加者の多くの方が地域活動に参加されており、その内容について話されていた。
- どのような活動をされている方が参加されていたのか。
 - 地域食堂や民生委員・児童委員を担う方、地域の交流の場づくりをされている方もいた。

② 第4期市民委員の募集結果

1期2年の任期満了に伴い、第4期市民委員の募集を行った結果について口頭で共有した。

○ 報告内容

- 第3期市民委員9名のうち6名の方から第4期も応募いただいた。新規で1名の応募もあり合計7名の市民委員となりますので来期もよろしくお願いします。

○ 委員長意見

- 応募者の人数や男女比、年齢、提出された作文のポイントなどをきちんと伝えてほしい。応募は何人だったのか。
 - 7名の応募で選考で落ちた方はいない。
- 過去の競争率は。全員通っているのか。
 - 第1期で2名が選考落ち。第2期は0名。第3期で1名が選考落ちとなっている。
- 男女比や年齢は。
 - 男性が4名で女性が3名。7名の平均年齢は50代前半となっている。
- いろいろな方が参加しやすい環境づくりのため、更なるPRが必要。応募作文の共有など委員が学習できるよう報告を分析的に行うこと。

③ 地域運営組織に係るタウンミーティング

地域運営組織設立に向けた第2回タウンミーティングが高野口地区（令和7年2月1日）・隅田地区（令和7年2月22日）に開催され、結果を共有した。

○ 報告内容

- 今回のタウンミーティングは①わかやまNPOセンター理事長の志場さんによる9月実施の第1回タウンミーティングの振り返り②3年後、5年後に達成したい目標とその目標のために、今自分が、地域ができることについてのグループワークを行った。
- 高野口地区では第1回参加者の内、今後も出席したいという方を対象に案内を送り、9名が参加。はぐくむ委員からは6名が参加した。
各グループ意見については資料2を参照。
- 隅田地区は29名が参加し、はぐくむ委員からは2名が参加。高野口・隅田とも19時～20時半で実施している。
参加者が多かったため、隅田地区では10年後の理想像についてChatGPTがまとめた第1回タウンミーティングでの5つの意見をテーマに3年後、5年後に達成したい目標とその目標のために、今自分が、地域ができることについてのグループワークを行った。各テーマにおけるグループ意見については資料2を参照。
- 高野口地区・隅田地区は地域運営組織を他の地区に先駆けて設立していくモデル地区として令和6年度に選定し、タウンミーティングを実施している。
- 事務局として令和7年度は地域運営組織の準備会の設立を目指したいと考えている。

- 委員意見（タウンミーティング参加者）
 - 第2層協議体が地域運営組織のメンバーの中心になると思われるので、第2層の活動をどのように地域運組織に繋げていくか今後議論したい。また、地域運営組織の形や設立の流れを考える必要がある。
 - 高野口の参加者が少なく、活発な意見があまり出ていなかったように思う。募集に力をいれる必要がある。
 - 階段が高齢者にとって辛いので高野口駅にエレベーターをつけてほしいといった意見も出たが、実現するのは難しいのかなという印象を受けた。
 - 高野口駅を改築する実行委員会が立ち上がっており、駅がこうなってほしいという要望は是非聞かせてほしい。キャッチフレーズという意見も高野口駅の下に〇〇の街というのをつけようという議論もある。駅や公民館ではぐくむ条例のことを表示すれば興味をもった若手が委員会に参加してくれるかも。
 - 高野口地区に参加したが、少数精鋭でとても地元愛を感じた。自分の地域にはない強みだと思う。若手の参加がないのが課題。
 - 隅田地区も学校関係者や保護者の年代、地元の祭りを担う若手などの世代の参加がないのが寂しい。単なる話し合いで終わらないよう来年度は意識が必要。
 - 若者だけを集めてミーティングや作業グループを作るといった工夫が必要では。
 - 各地域のカラーがあるので、地域運営組織も一括りにはできないと思う。
- 委員長意見
 - はぐくむ条例のもとで地域運営組織をつくるのであれば提言書にもかいた懇話会とはぐくむ委員会の話し合いの場は必要ではないか。
 - 組織作りや打ち合わせが大事ではなくまちづくりをしていくことが大事。そのために行ったワークショップや調査での市民意見は行政が集約し、情報を共有・理解することが必要。組織作りに関しても時間をかけ過ぎだと思う。タウンミーティングなどでも行政によるコーディネートが必要ではないか。

3. 議事

① 提言書

令和7年3月16日の提言書報告交流会での提出に向けた最終調整を行うため、修正点等について確認した。

○ 報告内容

- 年表記については表紙のみ西暦+和暦。その他は和暦で統一する。
- 概要を視覚的な分かりやすさを意識して大幅に変更。注釈を下部に追記した。

- 略称につけることとしていたカギカッコが、委員が強調したい文言につけるカギカッコとの区別が難しくなることから、略称についてはカギカッコをなしとしたい。→委員了承。
- 取り組みの表記について、名詞：取組み、動詞：取り組みとして統一する。
- 委員の100字メッセージについて、現在提出済みのものを記載している。参考に3月5日までに事務局へ提出する。

○ 委員長意見

- こどもパンフはいつ完成予定か。
 - 最終の修正案を岩澤さんへ修正依頼しており、2月中に完了いただく予定。
- すごろくについて、本来はA4カラーである旨を追記してほしい。
- 今後の軽微な修正については正副グループ長及び事務局に一任いただけるか。
 - 委員了承。

○ 委員意見

- 第2期で作成した条例検証シートの数値記載についてはどうなったか。
 - 数値については事務局で集計はとっているが、その数値についての検証が行えていないことから、第4期委員会で検証のうえ次期提言書での掲載を検討したい。→了解。

② 提言書報告交流会

3月16日の開催にむけた要項の内容について事務局が説明し、随時質疑を受けながら最終確認を行った。

○ 報告内容

- 受付については当日出席の委員から事務局が選任してよろしいか。→了承。
- 5月号広報で報告交流会の内容を掲載予定であり、協働のまちづくりグループ及び秘書広報課と調整し進めていく。
- 司会等の原稿は事務局が作成し、事前にお渡しする。

○ 委員長意見

- 2 概要の(3)の「会場定員の範囲において」の記載は不要ではないか。

○ 委員意見

- 開会の挨拶は委員長が行うのが良いのではないか。→委員長へ変更。
- 周知について、ホームページ以外にも積極的に行う必要があるのではないか。
 - 公民館やサポートセンターへのチラシ配布等行っていく。

4. その他

- ① はぐくむサポーターの配信方法をメールから市公式ＬＩＮＥへの移行
- 報告内容
 - 令和７年度は移行期間としてメールとＬＩＮＥ配信の両方を行い、令和８年度に完全移行を目指したいと考えている。ＬＩＮＥ配信は通常の配信と異なり、配信希望者のみに送られるため、市の公式ＬＩＮＥ登録者全員に送られるものとは区別される。
- 委員意見
 - 若者・高齢者両方に配慮したやり方を第４期でも議論できればと考えている。

5. 閉会

以上